

# 新型コロナ拡大で利用者減 減収47億円見込む

J R 北

JR北海道の島田修社長は11日に開いた記者会見で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって3月末までに47億円の収入減少を見込んでいると発表した。これまでに災害などによる収入減は2016年夏の台風被害でマスク姿で会見する島田社長



島田修社長

時の約40億円が最多だった。特に道が2月28日に緊急事態宣言を出してから利用客減が激しく、3月の影響額は33億7000万円を想定。利用者減少を受け、23日から在来線特急の便数や編成車両数を減らして経費を削減する。

1月下旬に中国政府が団体旅行の中止命令を出した後は、しばらくは日本国内客の利用も大幅に減少が推測されていたが、「道の緊急事態宣言から乗客減が第2フェーズに入った(島田社長)。」

2月27日、3月4日の連日収入は近距離の比連輸出入は9億7000万円の減収。2月末以降の水準が3月末まで続いた場合、年度累計では12億3000万円の前期割れになると試算している。

特急の減便は26日から4月25日まで、第1段階定期収入など合わせると2月の旅客取扱い収入は9億7000万円の減収。2月末以降の水準が3月末まで続いた場合、年度累計では12億3000万円の前期割れになると試算している。

## JR北 ツインクルプラザ 全6店閉店へ

JR北海道は11日、旅行商品販売店「JRツインクルプラザ」全6店を2020年2月末までに閉店すると発表した。インターネットツアーを予約する旅行者が増え、事前のネット発着行が不要な交通機関が多くなった

このことから、店舗運営からの撤退を決めた。出張など法人向けの無店舗営業販売は今後も続ける。計画は今後も札幌、釧路、帯広、旭川、函館の5支店を21年2月28日の営業終了をもって閉店。翌22年の同日に札幌支店を閉じる。

ツインクルプラザはJR北海道発足の1987年に運営が始まり、ピーク時は道内外に27店舗開いていた。だが市場環境の変化で収支が悪化し、店舗数を縮小。19年度の旅取扱額は6店と法人営業の合計で55億円の見込みで、25店あった10年度実績の3割程度に落ち込んでいる。

# ホームセンター新築へ

## イオン北海道 取得用地 室蘭の旧東中跡地

【室蘭】イオン北海道(札幌市白石区本通2丁目南1の10、青柳英樹社長)が2013年に室蘭市から購入した旧東中跡地で、ホームセンター新築が計画されていることが分かった。市内で複数のホームセンターを展開する事業者が、建設用地として約2万平方メートルを認めている。21年春にも着工し、年度内のオープンを目指す。

11日の室蘭市議会総務常任委員会で市企画財政部が報告した。市は13年度、室蘭市町2丁目14の1に位置する旧東中跡地の公募提案型一般競争を実施。室蘭市(東町2丁目4の32)の移転先を探していたイオン北海道が4億円余りで購入した。

しかし、資材価格高騰など建設コストの上昇がネックとなり、同社は建設時期を再検討。この間、市公設卸売市場の移転改築事業が本格化し、日の出町2丁目3の1(敷地面積7万4483平方メートル)が跡地になることを受け、同敷地への移転改築に方向転換した。

こうした中、同社は昨年12月、旧東中跡地の活用について、跡地の一部(全体の6割程度、約2万平方メートル)をホームセンター店舗の用地にしたいと、事業者が21年春の着工を希望していることなどを市に提案した。

市は跡地の売却時、土地利用条件として、共同住宅などの住居施設が商業施設(市内既存店舗の移転)を提示したため、今回の提案に際し、これらの条件緩和を求めている。

このほか、敷地南側にラッシュ、車庫などの移転用地として検討したいと報告した。

日本グランデ(札幌市中央区大通西5丁目1の1、平野雅博社長)は、分譲マンションのグランデ・札幌山鼻ラガーア新築を主体、設備一括で丸彦渡辺建設に依頼し、着工した。2021年3月下旬ごろの完成を予定している。

イオン北海道は「土地は賃借するが売却するかのいずれかで検討を進めている。ホームセンター事業者は公表できない」としている。

## 丸彦渡辺建設で着工 南20西9に分譲MS新築

丸彦渡辺建設は、札幌市南20西9丁目669の敷地10950平方メートルで、3用施設としてシネターと通信ラオケルーム、フィットネスルーム、屋上庭園などを設置する。自社で設計した。建設地は札幌市中央区南20条西9丁目669の敷地10950平方メートルで、3用施設としてシネターと通信ラオケルーム、フィットネスルーム、屋上庭園などを設置する。

## コスト コ 石狩湾新港に店舗新築 延べ1.5万㎡で計画

会員制の倉庫型店舗を展開するコストコホールセルジャパン(川崎市川崎区池上南町3丁目1の4ケン、新田才社長)が新築する仮称コストコホールセル石狩倉庫店の規模が判明した。延べ1万4700平方メートル

5月30日に建築確認を申請し、2021年4月30日の開業を目指す。商業の活性化に北海道地域の生活性に関する条例(例)に基づき計画概要を告示した。

店舗面積は1万5000平方メートル、店舗南側に荷さ

ばき施設(300平方メートル)と廃棄物保管施設(97平方メートル)の敷地に、コンクリート造、6000平方メートルを設け、駐車場のうち317台が交差するジャンクションに近い。

大規模小売店舗立地法の届け出は7月30日に予定している。

石狩市の都市計画で特別業務地区に区分されるため、都市計画変更が必要になる。

19年10月1日時点、コストコは国内26店舗を展開。道内では08年の札幌倉庫店開業以来、2店舗目の出店が期待されてきた。

隣接地では6月5日にスパホテル石狩が開業したほか、イオン北海道が物流倉庫の新築を予定。来春のコストコ開業で、石狩湾新港地域の企業進出のさらなる呼び水になることが期待される。

## 設計施工 シンセ

オーダーメイドの加工機械や生産ライン設備の製造を手掛けるシンセックス(石狩市新港西2丁目788の7、布川丈嗣社長)は、石狩市内に新築する工場設計施工を内地建設に依頼した。4月1日の着工、9月30日の完成を予定している。規模はS造、平屋一部